

登録コード	TSG68500		開講年度	2026			
授業科目	電子材料特別実験					担当教員	橋本 佳男
英文授業名	Electronic Materials Laboratory 2					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実験	備考	電気電子工学分野修士 2 年生
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				研究開発へむけた実験計画、遂行結果の解析、成果の発表と評価までを行える。		
(2)授業の概要	授業期間全体を通じて、特定の固体電子材料の合成法または電子デバイス（特に太陽電池等）の開発にかかわる実験を行い、得られた結果の解析、データのまとめ、成果の発表、論文の作成が求められる。						
(3)授業計画	授業期間全体を通じて、特定の個体電子材料の合成法または電子デバイス（特に太陽電池等）の開発実験が行われる。 実験の進展状況については毎週ゼミ形式で、報告・議論させることによって、解析能力、課題解決力を身につけさせる。 最後に得られた成果を論文としてまとめ、発表させる。						
(4)成績評価の方法	実験結果に基づいてまとめた論文において、計画性、実験の手法、実験データの解析手法、独自性等を総合的に判断し、下記の 5 段階で評価する。						
(5)成績評価の基準	授業の目標（広範な工学分野で活躍できる研究実践能力を身につける）を ・十分達成できているものに「秀：90-100点」 ・達成できているものに「優：80-89点」 ・ある程度達成できているものに「良：70-79点」 ・大凡達成しているが、十分でないものに「可：60-69点」 ・達成できていないものに「不可：0-59点」 の評定を与える。						
(6)事前事後学習の内容	実験データは正確に記録し伝えることはもちろん、実施者自身においても傾向の分析、先例との比較研究を十分に行って報告、議論してください。						
(7)履修上の注意	基礎的な知識を習得するとともに、研究者としての基本的な態度を身に付けられたい。						
(8)質問,相談への対応	毎回のゼミで対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						